



No.106 2022.1 KENJIKYO

**MIE**



松阪市立鎌田中学校

巻頭のあいさつ	
伊賀市長 岡本 栄	1
年頭のあいさつ	
新年のご挨拶	
会長 相原 清安	2
建築士事務所キャンペーン	
建築士事務所キャンペーン	
広報・渉外委員会 委員長 伊藤 茂	3
支部ひろば	
志摩支部	8
伊賀支部	8
紀州支部	9
桑名支部	9
事務所紹介	
上野ハウス一級建築士事務所	10
毛利建築事務所	10
吉久デザイン研究所	11
有限会社岡本設計	11
委員会報告	
令和3年 業務・技術委員会、教育・情報委員会	12
目安箱	
建築のお仕事	13
四日市支部 国安院 章良	
みえの歴史街道 道行 歴史街道 概要	
鈴鹿支部 見取 貞義	14
「これからの建築士事務所の経営と展望」	
松阪支部 伊藤 達也	15
新型コロナで考える	
津支部 前川 忠則	16
視点・論点	17
広告	18



## 巻頭のごあいさつ

伊賀市長 岡本 栄

明けましておめでとうございます。

会員の皆さんには、ご活躍のこととお慶び申し上げます。

また、平素は伊賀市を始め三重県内の建築、住宅行政に多大なる理解と協力を賜り、深く感謝の意を表すところです。

新型コロナウイルス感染症に対し、昨年は伊賀市においてもワクチンの接種、3密の回避、移動の自粛を呼びかけ、感染防止対策に全力で対処してまいりました。不要不急の外出自粛で窮屈な生活を余儀なくされ、心も沈みがちにはなりましたが、本年は感染症の終息、また明るいニュースが多からんことを望みます。

さて、伊賀市では、昨年6月に第2次伊賀市総合計画の総仕上げと位置付けた第3次基本計画を策定いたしました。この計画は、人口減少やコロナ禍等の課題を踏まえ「新たな日常・新しい生活様式」を確立させ、さらに「誇れる・選ばれる伊賀市」をめざすものです。また、多様な主体と連携し、誰一人取り残さない持続可能な伊賀市（オール伊賀市）を実現することとしています。この中で、住環境や建築に係る具体的な取り組みでは、建築物の耐震化の推進、空き家対策、文化的建造物の保存と活用等を進めます。

まず、建築物の耐震化に関しては、伊賀市建築物耐震改修促進計画により、伊賀市の住宅の耐震化率を2025年度末までに89%とすることとし、耐震診断・耐震補強設計・耐震補強工事の補助事業を実施し、普及啓発のための訪問活動や庁舎内におけるパネル展示等の取り組みも行っています。

空き家対策では、人口減少による中心市街地の空洞化が進み、城下町を形成する歴史的建築物の多くが活用されず放置されていることから、官民が連携して城下町ホテル事業に取り組んでいます。2020年11月には、「NIPPONIA HOTEL 伊賀上野城下町」が開業しました。小規模分散型ホテルということでコロナ禍でも感染リスクが少ないことから、想定を超える多くの方に宿泊いただいています。城下町にふさわしい風情のある外観や客室、また伊賀米や伊賀牛などに代表される伊賀ブランド「IGAMONO」を堪能し、伊賀の文化を感じられるひと時が好評です。

「日本の20世紀遺産20選」に選ばれた伊賀上野城下町の街並み保存・活用をめざす「にぎわい忍者回廊プロジェクト」は、中心市街地に存在する文化財建築物や街のシンボリック建築物を忍者回廊ルートとして散策していただくための事業です。坂倉準三氏の設計で伊賀市指定文化財である旧上野市庁舎などの建築物により「にぎわいづくり」をめざしています。

DX（デジタルトランスフォーメーション）の技術を活用しながら、住民の安心、安全を最優先に考え、これらの施策を合理的かつ効率的に進めるためには、皆さん方のお力が必要不可欠です。今後ともどうぞご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

結びに、貴会のますますのご発展と会員の皆さんのご健勝を祈念しまして、巻頭のごあいさつとさせていただきます。



## 新年のご挨拶

一般社団法人 三重県建築士事務所協会  
会長 相原 清安

令和4年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。  
会員各位におかれましては、新年を健やかに迎えられましたことと心よりお慶び申し上げます。

昨年度の総会におきまして引き続き会長としての重責に就かせて頂きましたこと、日頃、当協会の運営につきまして、会員・賛助会員・役員・事務局の皆様方のご支援・ご協力を頂きましたことを、併せて心より厚くお礼申し上げます。

また、2期目も恙なく任期を全うさせて頂けますよう更に努めてまいりますので、皆様方のご支援・ご協力を引き続き賜りますよう切にお願い申し上げます。

令和3年に希望者へのコロナワクチン接種が実施され、第5次緊急事態宣言が解除されてからは、飲食業をはじめとした社会経済活動の改善・好転がようやく見えはじめましたが、新型コロナウイルス感染者数の終息まではまだまだ我慢しなければいけないかもしれませんが、地道に常に追求心をもって進むことで、新たな発展へと繋げる年にしていきたいと考えています。

本年こそは、事業計画に挙げさせて頂きました「試練からのチャレンジ！」をスローガンとして、当協会も今までの従来の事業等を見直し、危機感を感じ、他を頼らず自力で運営できる事業を創造・開拓していかなければなりません。

就任当時からの「情報の共有」・「存在感のある事務協」・「安定運営できる組織」を再再度目指し、皆様方には一人一人が建築士事務所の運営者であり、かつ設計・監理業界の一端を担う重要な任務を背負っていることを意識していただき、つながりをもって結束し「自ら機会を創り出し、機会によって自らを変える」をモットーに皆様方と共に努力をしていきたいと思っておりますので、ご理解・御協力を一層お願い申し上げます。

当協会として、常に、安定運営のための事業について「今の状況ではダメだ！何かできないか」を常に考え（建築関係に限らず？）新鮮な意見やアイデアを出し合っ  
て思い切った事業を進めていきたいと思っております。

また、コロナの影響で中断されておりました三重県を始め各市町での意見交換を通じて、信頼関係を構築していき、日事連・関係団体等とも連携・交流を深めて業界の一層の進展に努めたいと思っております。

当協会の維持・発展のためには、何事も会員皆様方のお支えが無ければ成就不可能なのが現実であり、今後もより一層のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

本年度も会員・賛助会員各位がご健康で、益々のご活躍、ご清栄であります事を祈願いたしまして、新年のご挨拶に代えさせて頂きます。



## 2021 建築士事務所キャンペーン

# フォトコンテスト

『風景の中の建築 2021 ～三重県～』

今回、建築士事務所キャンペーンとして初めてフォトコンテスト『風景の中の建築 2021 ～三重県～』を開催し、一般の部 213 点、学生の部 38 点の総数 251 点の応募をいただきました。令和3年11月7日(日)に上位入賞者の方を対象に、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より少人数にて表彰式をアスト津にて開催しました。今回の開催にあたり、ご後援いただきました全日本写真連盟の皆様を始め、関係者各位からのご協力・ご尽力を賜り心より感謝申し上げます。

広報・渉外委員長 伊藤 茂



相原会長

審査会の様子



牛場和美氏



表彰式の様子



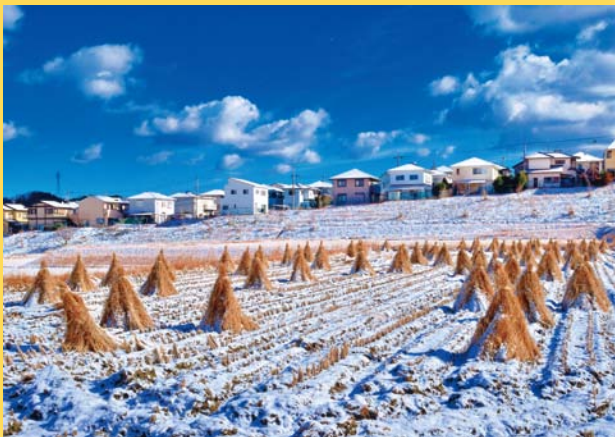


## フォトコンテスト受賞作品

※受賞者の御名前については、各々の希望を聞き取りの上、掲載させていただきました。

一般の部 **金**賞

隣にある農風景 上杉 裕昭



(選評)

田園風景の向こうに整然と並ぶ新興住宅団地の家並みが雪景色の中に映え、清涼感あふれる作品に仕上がっている。

一般の部 **銀**賞

朝焼けの笹川団地 今仁 さとみ



(選評)

高度経済成長期の四日市コンビナートを背景に、林立する集合住宅団地に朝の陽光が差し込み輝き、雲間の一羽の鳥がアクセントになり、映画のワンシーンを見ているようである。

一般の部 **銅**賞

夕映えのホテル 門谷 若次



(選評)

夕焼けの田園に映り込む高層のホテルの温かい空気感に癒される思いである。

学生の部 最優秀賞

∞(インフィニティ) 伊藤 大登



(選評)

無限の美しさ、その彼方に高度成長期に開発された大阪への通勤圏である住宅が輝き、堂々とした存在感を感じさせる作品に仕上がっている。



一般の部  
入選作品



田植え終りて  
城田 清延



田園からの風景  
太田 正平



里の営み(さとのいとなみ)  
池山 久子



雨上がり

早春  
片山 みさ子



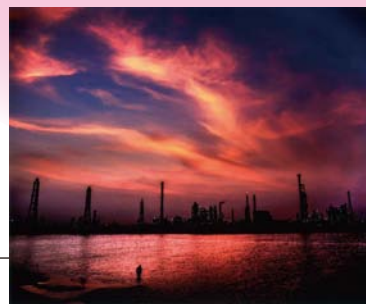
旧小田小学校本館  
海野 幸二



赤屋根の一軒家  
伊藤 孝司



旧一志波瀬郵便局  
吉川



コンビナート夕景  
水谷 寛



いらか屋根  
カール・K



# 学生の部 準優秀賞



夕暮れのポートビル



漁村  
壮くん



変わらぬ町並み



たんぼの中の学校  
加藤 千耀



竹がニヨキニヨキ生えた  
とら



廃れた夜の商店街



もう一匹の観光客  
谷戸 快地



港町富州原のまちなみと夕焼け  
T.T



蛍



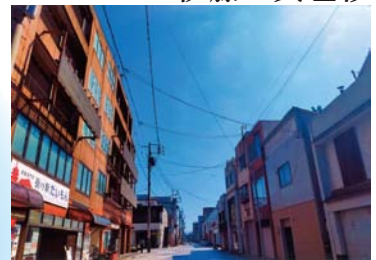
Yokkaichi の青  
伊藤 真理彩



こんな家に住んでみたいわ  
ぽによ



神社  
岡部 煌生



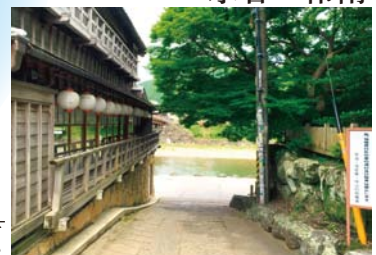
大門商店街  
水谷 怜南



水辺に沿う建物  
Reo



五十鈴川への誘い  
藤原







# 建事協 特別賞



リフレクション  
北條 真実



川辺の景観  
板谷 一行



工場の宝石箱  
望月 椋瑛



原風景に逢いに行く



走る娘  
宇佐美 雅寛



雪場の宿場町



夜桜お七が住む世界  
桐山 卓也



狼煙(のろし)  
つよし@jon69tys



村のバス停  
市川



ガラスの城  
島崎 守

## 総 評

風景の中の建築をテーマに一般の部、学生の部、合わせて251点の応募があり、3人の審査員により、厳正な審査を行いました。

応募作品の特色として、三重県の風土を物語る田園風景の中の建築物が多く、その次に四日市の石油コンビナートをはじめとする工業地帯を背景にした作品が多かったと思います。

とくに入選以上の作品(13点)は田園風景の中の建築物が多くを占め、豊かな自然環境の中で生活している幸せを、今回のフォトコンテストで実感しました。

また、日本の高度成長期の建築を背景とした写真も多く寄せられ、経済を発展させてきた象徴的な工業地帯と共に表現された建築物を拝見することが出来ました。

他に、歴史ある建物も多くあり、全体、バラエティーに富んだ作品が寄せられ、改めて「風景の中の建築」の大切さと意義を感じました。

次回、コンテストも楽しみにしております。

全日本写真連盟三重県本部 委員長 牛場 和美